

SHIMA SEIKI



2019年3月期 決算説明資料

2019年3月期連結業績概要

売上高、各利益ともに大幅に減少しました。

(百万円)	当 期	前期比	前 期	
	売上高	51,352	△28.5%	71,858
営業利益	4,638	△68.9%	14,905	
経常利益	4,991	△67.8%	15,525	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,835	△66.0%	11,279	
為替レート(円)	期末レート	平均売上レート	期末レート	平均売上レート
ドル・円	110.99	110.83	106.24	110.71
ユーロ・円	124.56	128.87	130.52	130.64

ハイライト

事業概況

【横編機事業】

・アジア

中国ではホールガーメント横編機の導入が拡大しましたが、バングラデシュで政情の影響を受け、販売が低迷しました。

また、シューズ生産向けのコンピュータ横編機は競争激化により、売上を伸ばすことができませんでした。

・中東/トルコ

7月以降のリラ安の進行がユーザーの資金調達難を招き、第2四半期以降の設備投資が低迷しました。

・日本

ホールガーメント横編機を中心に販売が拡大しました。

【デザインシステム事業】

コンピュータ横編機の販売不振の影響を受け、アパレルデザインシステム「SDS-ONE APEX3」の販売は減少しました。

自動裁断機「P-CAM」は日本、海外ともに販売が伸びました。

【手袋靴下編機事業】

大手ユーザーの設備投資が減少したことから販売が低迷しました。

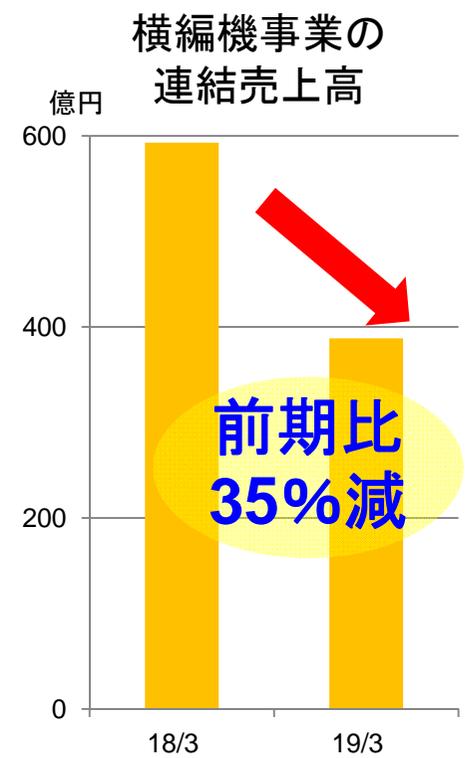
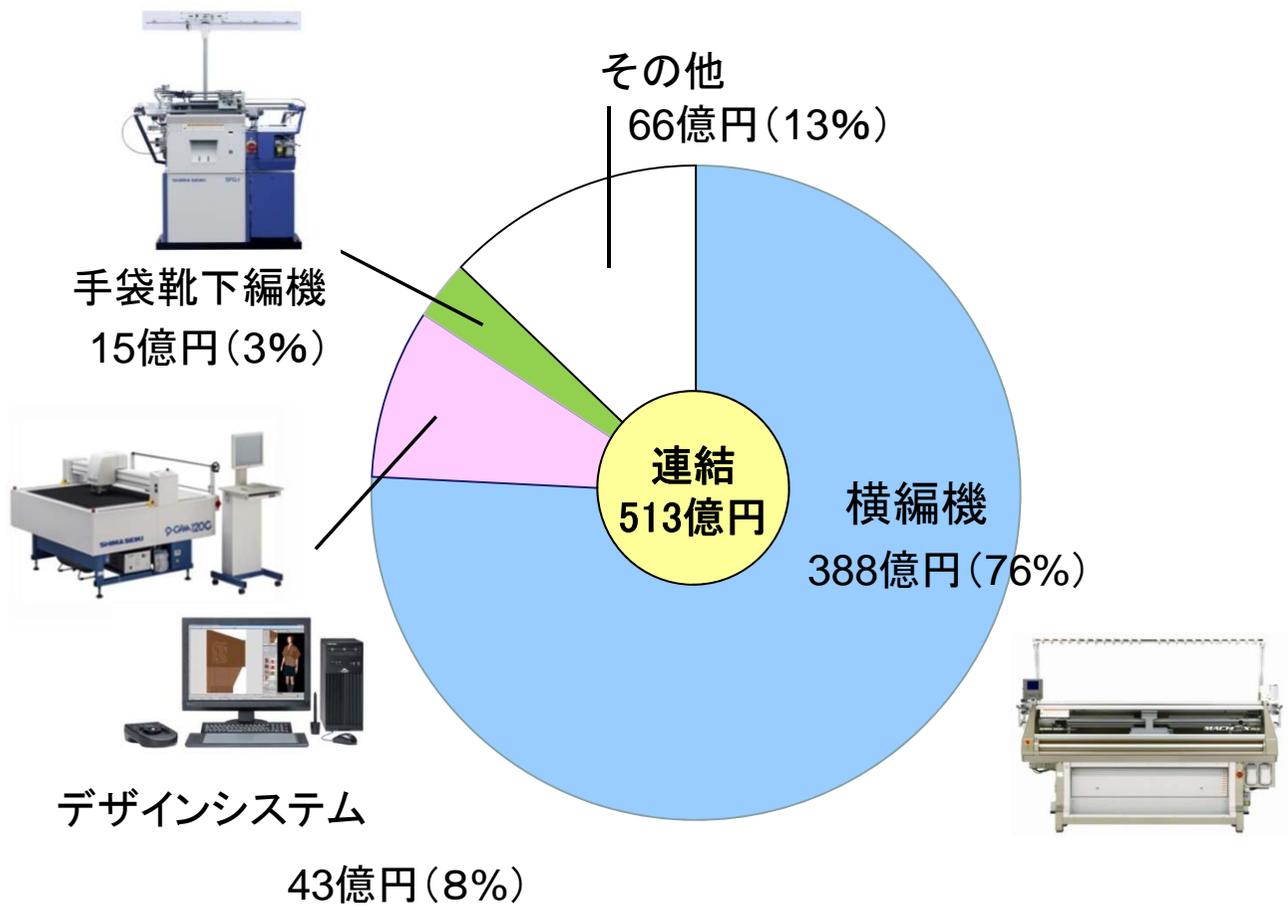
利益面

・売上高の大幅な減少に加えて、生産調整を実施したことから売上総利益率が悪化しました。

・一部顧客の支払い遅延に対応して貸倒引当金繰入額を増加させたことで販売管理費の増加につながりました。

事業セグメント別売上高構成〔連結〕

ホールガーメント横編機以外の横編機が低調



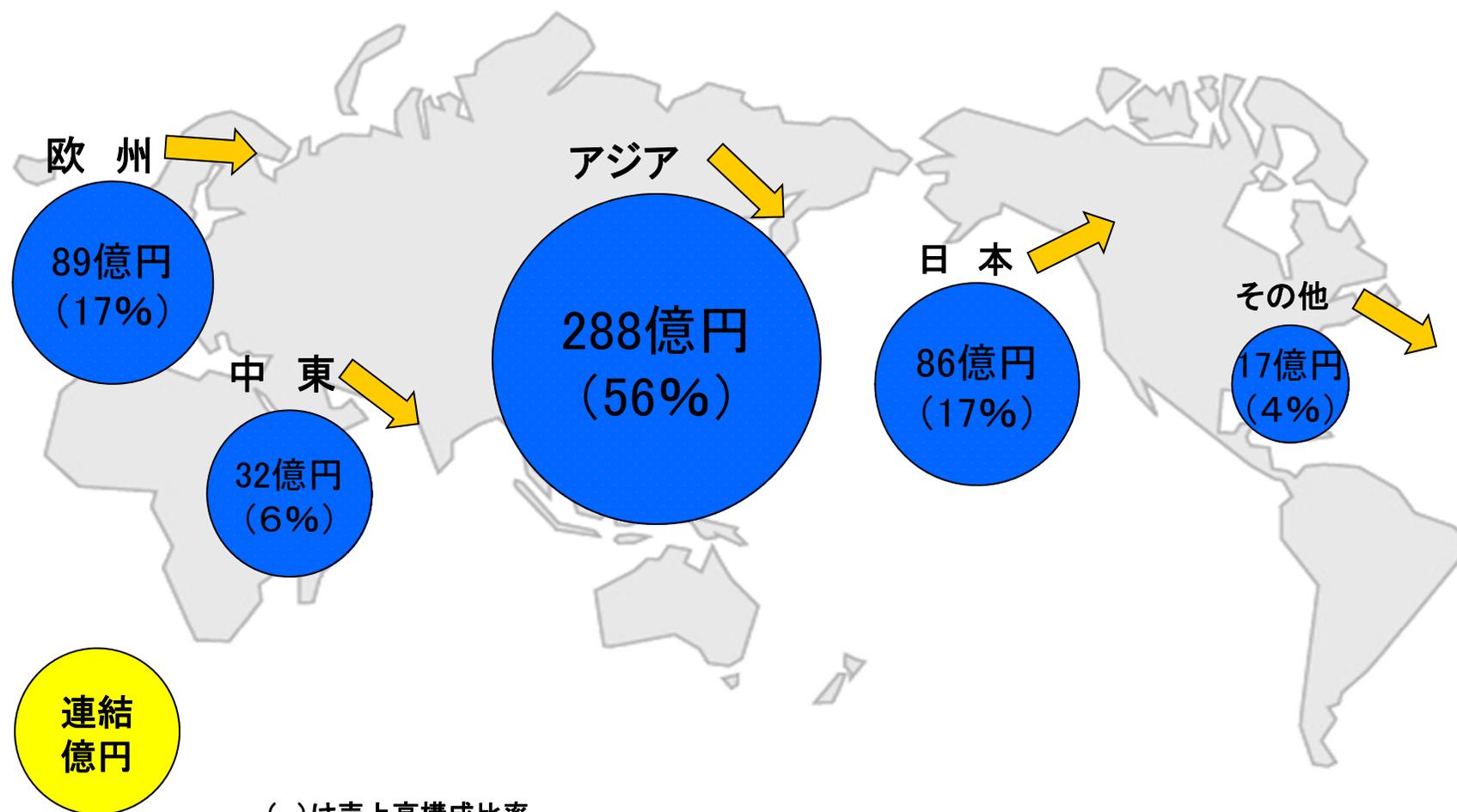
()は売上高構成比率

事業セグメント別売上高・営業利益〔連結〕

(百万円)	売上高		営業利益	
		前年同期比		前年同期比
横 編 機	38,806	△34.6%	8,767	△54.9%
デザインシステム	4,380	+11.3%	944	△19.0%
手袋靴下編機	1,555	△34.5%	237	△50.0%
そ の 他	6,609	+7.0%	999	+849.8%
消 去			△6,309	—
合 計	51,352	△28.5%	4,638	△68.9%

地域別売上高構成〔連結〕

アジア市場、中東市場が低調となる一方、日本は売上回復



地域別売上高〔連結〕

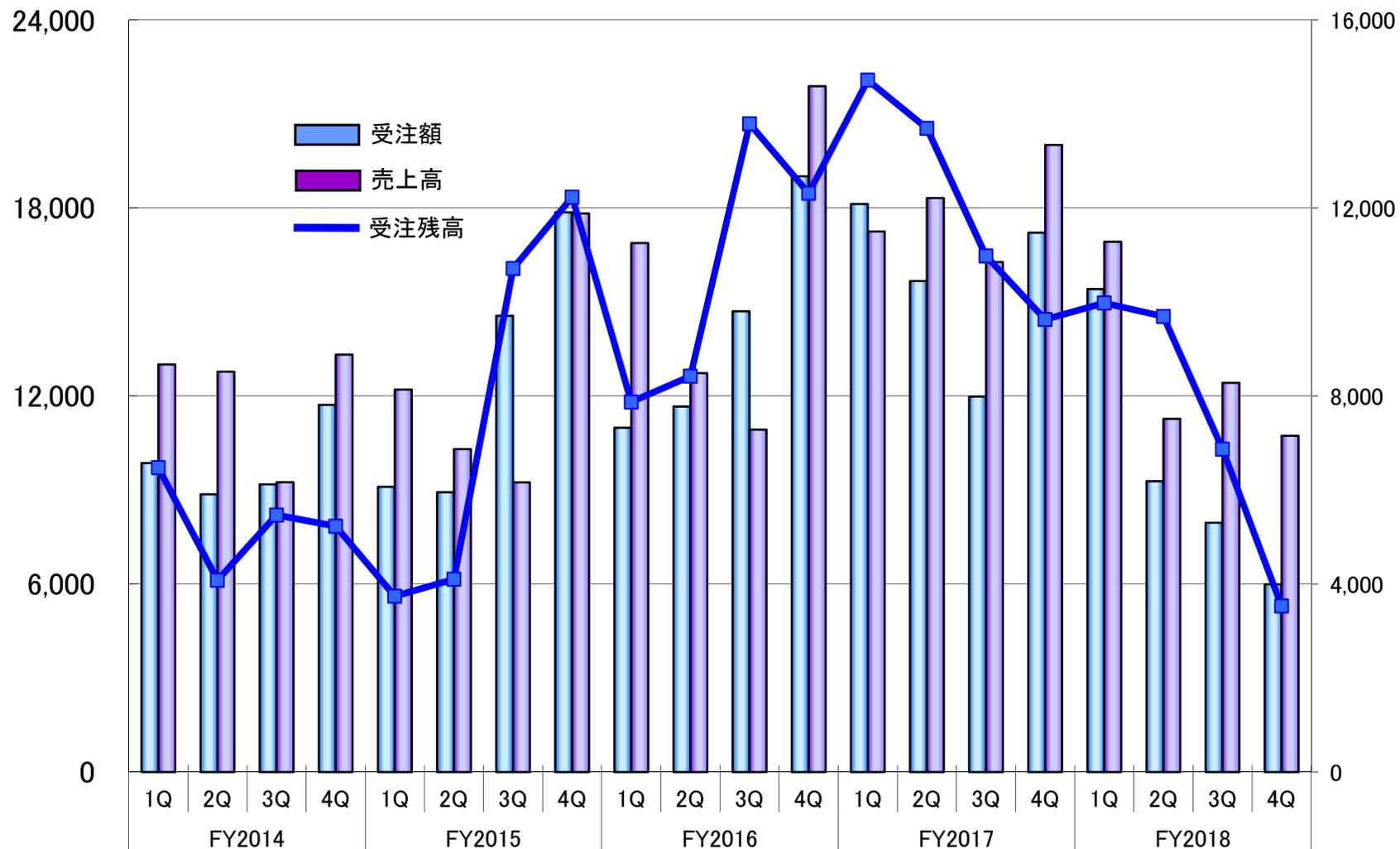
(百万円)

地 域	当 期	前 期	前期比
日 本	8,603	7,212	+19.3%
欧 州	8,959	9,052	△1.0%
ア ジ ア	28,810	48,516	△40.6%
中 東	3,227	4,356	△25.9%
その他(海外)	1,751	2,720	△35.6%
合 計	51,352	71,858	△28.5%

受注・売上高・受注残四半期推移〔連結〕

(受注・売上高)百万円

(受注残高)百万円



四半期別業績推移〔連結〕

(百万円)	2018/3				2019/3			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	17,251	18,318	16,275	20,013	16,923	11,273	12,423	10,732
営業利益	3,747	4,313	3,194	3,650	3,307	1,036	1,257	△962
経常利益	4,181	4,702	3,516	3,125	3,670	957	1,215	△852
親会社株主に帰属する当期純利益	3,048	3,480	2,422	2,328	2,571	740	849	△327

受注高	18,130	15,670	11,982	17,211	15,412	9,280	7,958	5,994
受注残高	14,718	13,693	10,979	9,627	9,979	9,691	6,869	3,531

当期の取り組み

世界各地の展示会に参加 ～個展・セミナーも各地で実施～



- 2018年7月 香港ニットメーカー「コバルト・ファッション」が「CSイノベーションラボ」設立
- 2018年10月 「ITMA ASIA + CITME 2018」(上海)に出展
- 2019年1月 「DTG」(バングラデシュ)でホールガーメント横編機を展示
(同国最大の繊維関連の展示会)
- 2019年3月 「JEC WORLD 2019」(パリ)に初出展(コンポジットの展示会では世界最大規模)

当期の取り組み

(連結子会社)株式会社海南精密に工場を建設

2018年12月稼働

品質向上、開発スピードを加速させる

グループ全体での生産効率化を目指す(本社の部品組立工程を移管)



2020年3月期計画〔連結〕

(百万円)	2020年3月期 上半期		2020年3月期 通 期		2019年3月期
		前年同期比		前期比	
売上高	23,000	△18.4%	52,300	+1.8%	51,352
営業利益	400	△90.8%	4,000	△13.8%	4,638
経常利益	700	△84.9%	4,400	△11.9%	4,991
親会社株主 に帰属する 当期純利益	600	△81.9%	3,300	△14.0%	3,835

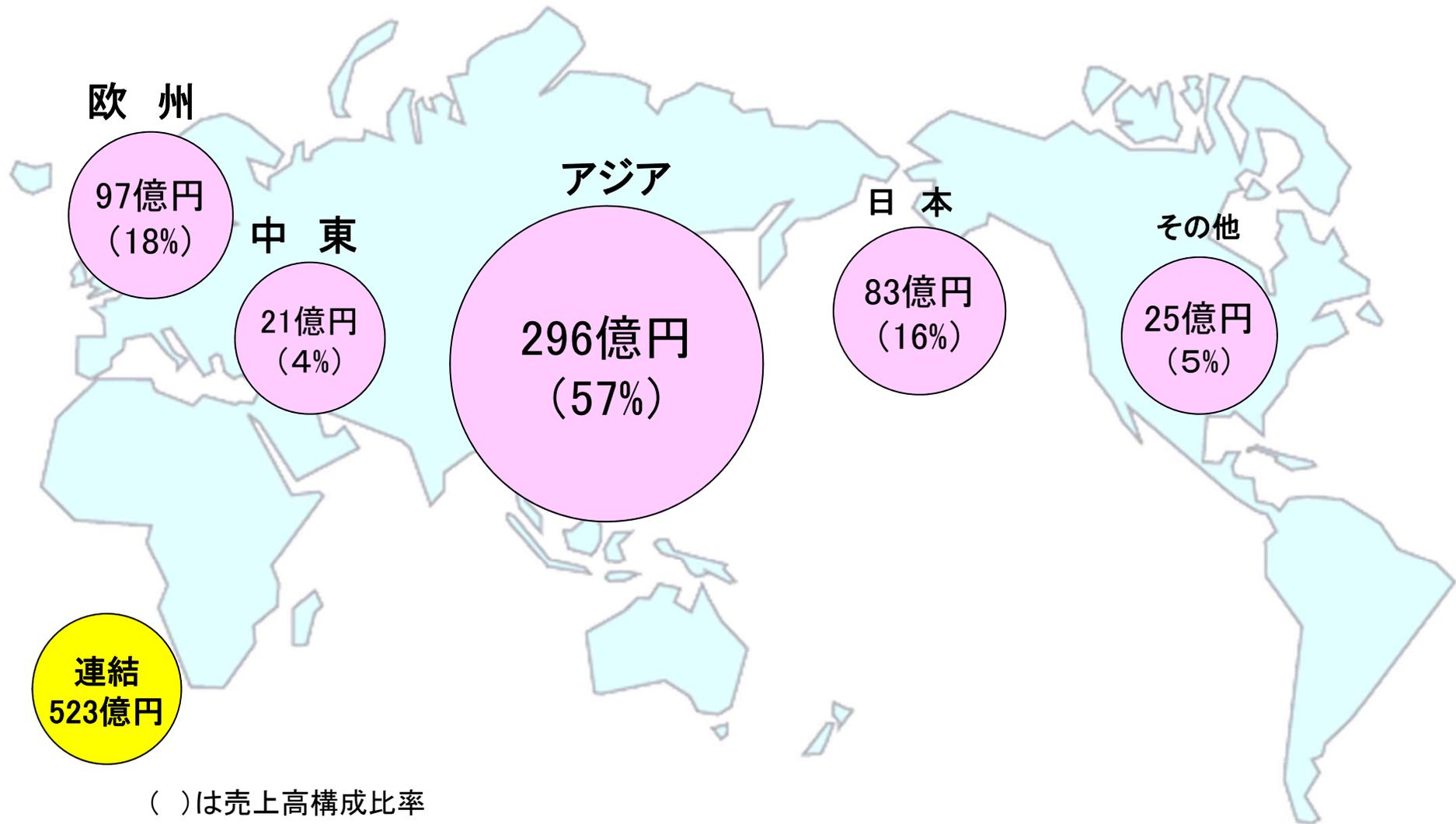
通期計画の前提 為替レート 110円/ドル 125円/ユーロ

為替が1円変動した場合の営業利益への感応度 米ドル40百万円 ユーロ30百万円

2020年3月期計画〔連結〕【事業セグメント別】

(百万円)	売上高		前期比	営業利益		前期比
	上半期	通期		上半期	通期	
横編機	16,500	39,300	+1.3%	2,460	8,200	△6.5%
デザインシステム	2,300	4,800	+9.6%	510	1,050	+11.1%
手袋靴下編機	900	1,700	+9.3%	130	250	+5.2%
その他	3,300	6,500	△1.7%	600	1,000	+0.1%
消去				△3,300	△6,500	
合計	23,000	52,300	+1.8%	400	4,000	△13.8%

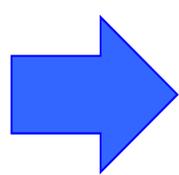
2020年3月期計画〔連結〕【地域別売上高】



中期経営計画「Ever Onward 2020」の見直し①

中期経営計画の目標数値を見直す

(億円)	2020年度 (当初目標)	2020年度 (修正目標)
売上高	1,000億円	650億円
営業利益	250億円	100億円
経常利益	250億円	100億円
親会社株主に 帰属する当期純利益	180億円	70億円
ROE	12%	5.3%



中期経営計画のメインシナリオは変更はせず

1. 差別化戦略の推進と事業領域の拡大
2. 将来の成長に向けた積極的な投資の強化

中期経営計画「Ever Onward 2020」の見直し②

- ・事業環境の急速な変化。大量生産型のモノづくりからの転換
- ・構造変化は当社にとっては良い方向

(億円)	2020年度 (当初目標)	2020年度 (修正値)	2018年度 (実績値)
売上高	1,000億円	650億円	513億円
横編機	810億円	500億円	388億円
デザインシステム 関連	75億円	60億円	43億円
手袋靴下編機	25億円	20億円	15億円
その他	90億円	70億円	66億円

株主還元指針の修正

連結配当性向25%を目安とする

連結配当性向を30%以上とする

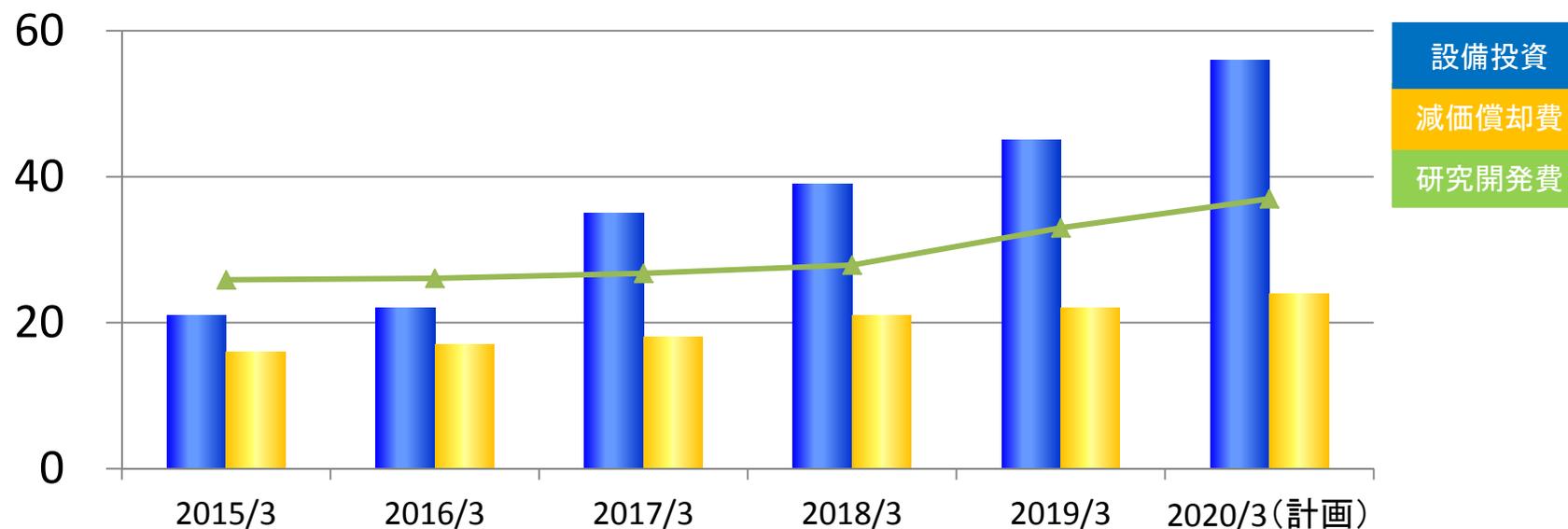
研究開発費・設備投資等の推移〔連結〕

戦略的な投資は継続

20年3月期(計画) 設備投資56億円(リース資産23億円含む)
減価償却費24億円、研究開発費37億円

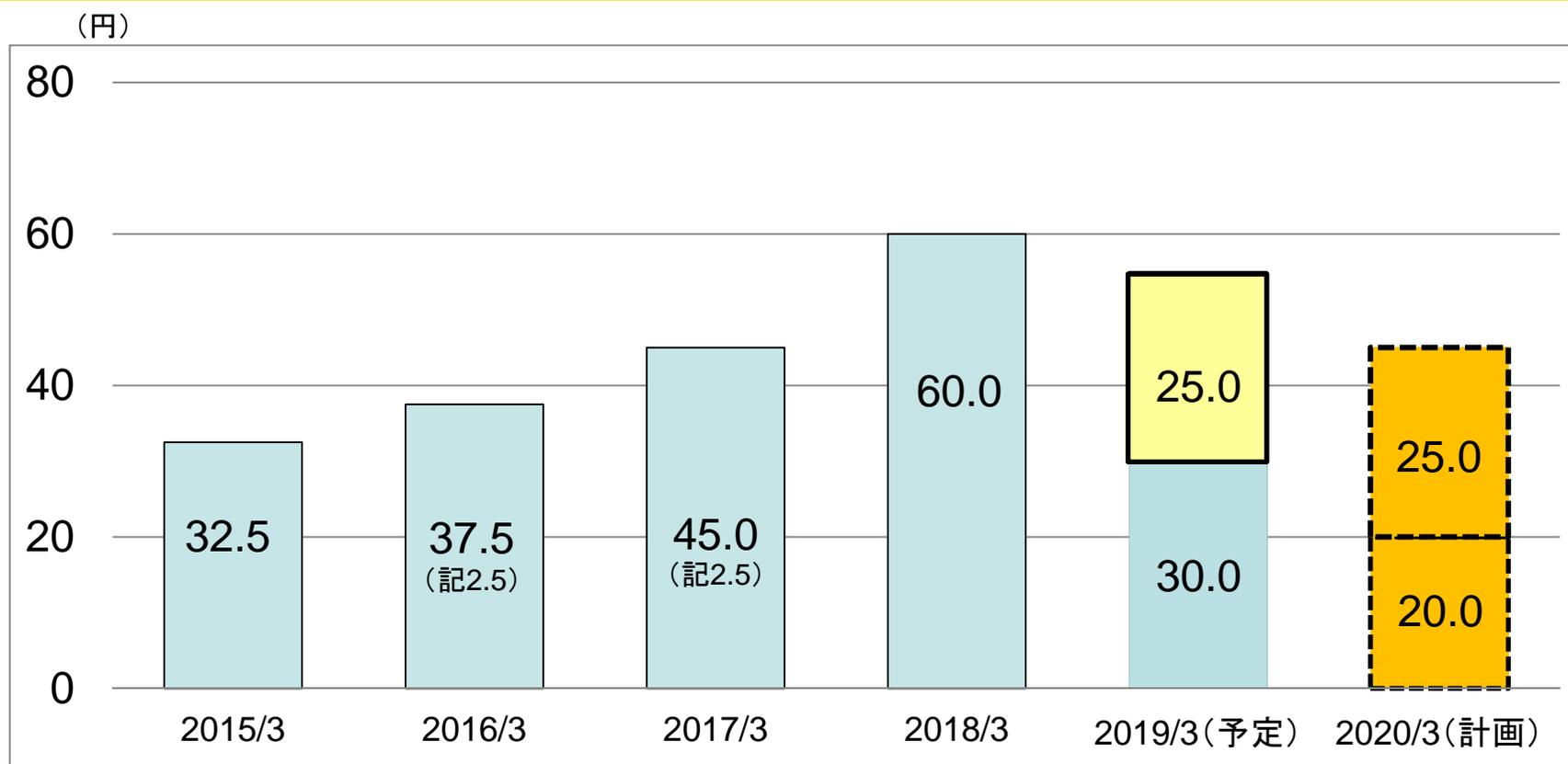
19年3月期(実績) 設備投資45億円 (リース資産13億円含む)
減価償却費22億円、研究開発費33億円

(億円)



株主還元

1. 19/3期〔実績〕 自己株式100万株(発行済株式総数2.73%)を取得
2. 19/3期〔予定〕 期末配当金25円(年間55円・配当性向52.1%)
3. 20/3期〔計画〕 中間配当金20円 期末配当金25円(配当性向48.4%)



トピックス

ホールガーメント横編機1万台目を出荷(1月)

- 1995年 ホールガーメント横編機をITMAミラノに出展
- 2007年 MACH2X発表、生産性大幅に向上
- 2015年 MACH2XS発表、可動型シンカー装置搭載



インレイドレス

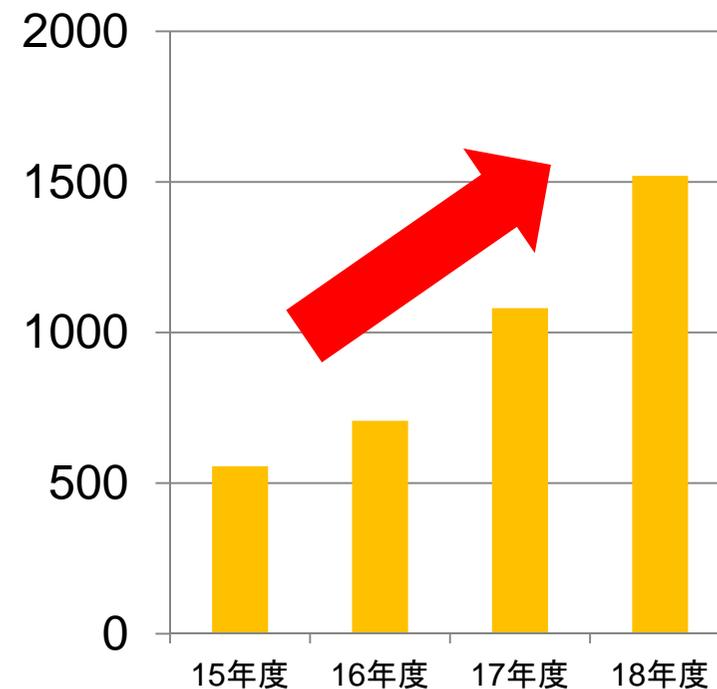


ホールガーメントドレス



MACH2XS

ホールガーメント横編機販売台数



次期の取り組み



ITMA 2019 (バルセロナ)

KNITify the World™
Smart Solutions in Textiles

「世の中のニット化」をテーマに業界へ訴求

開催日時: 2019年6月20日～26日

場所: Barcelona at Fira De Barcelona, Gran Via.

当社ブース: Hall8.0 B106

世界最大の国際繊維機械展(4年に1度開催)

繊維関連企業が世界46ヶ国から1,600社が出展表明。

147ヶ国、120,000人の来場者を見込む

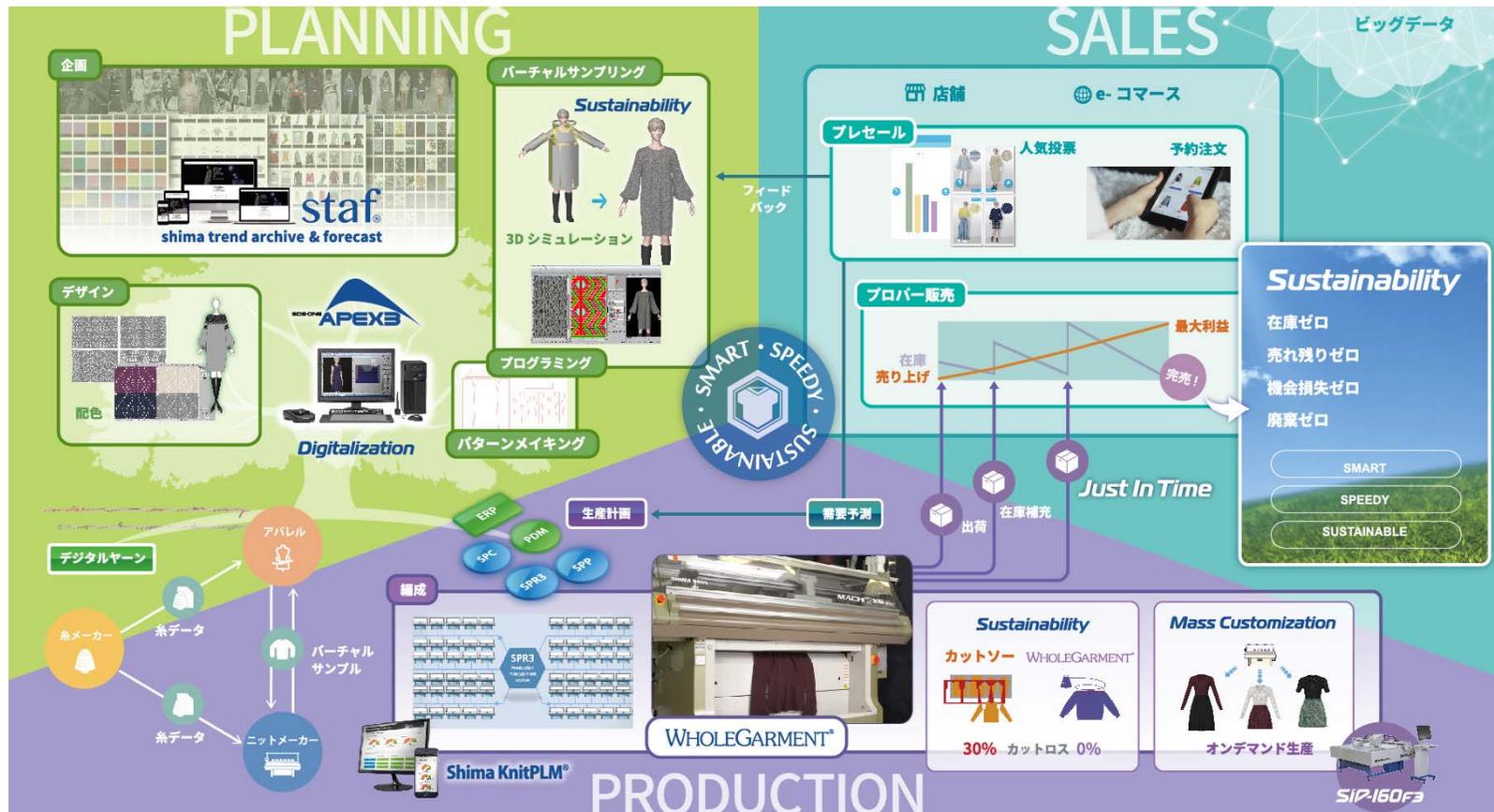
＜前回開催＞ITMA 2015(ミラノ)

ホールガーメント横編機の新機種「MACH2XS」を発表し、デザインシステム「SDS-ONE APEX3」とともに「トータルファッションシステム」の一貫した技術提供をアピールし、高い評価を受けた



サステナビリティ

当社が提唱するモノづくりのコンセプト「TOTAL FASHION SYSTEM」は、デジタル化、マスカスタマイゼーション、サステナビリティを実現します。
 3Dデザインシステムを核に、企画・生産・販売の全ての工程がそれぞれ相互に情報を取り交わし密接に関わることで、スピーディーでスマートな環境に優しいモノづくりが可能となり、産業に革命を起こしてお客様を成功に導きます。



新分野を開拓

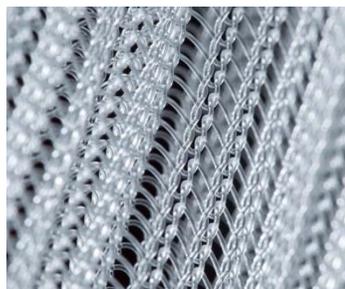
ニットの技術をファッションの枠にとどめず、
多彩な分野に広げ、需要の拡大を目指します。



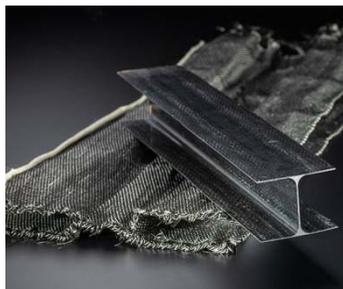
立体編成技術



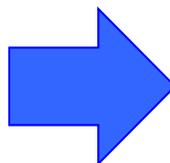
インレイ(横糸挿入)編成技術



ナイロンモノフィラメント



炭素繊維プリフォーム



スポーツ、インテリア、産業資材、
メディカル、ウェアラブル、自動車、航空宇宙





本資料に記載されている当社の計画および業績の見通し、戦略などは、発表日時点において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な要因により大きく異なる可能性がありますことを、予めご承知おきください。